

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 1 子育て期の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 繰改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704		子ども総合支援センターの充実 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育ち・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター（専門相談員）を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。
0702	1 重-11	(再掲)4-1-2	継続	保育課	実施	要保護児童を早期発見するため日常の保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。
0605		(再掲)4-1-2	継続	健康課	継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。
0702	2 重-12	公立保育園のブロック化とサービス内容の見直し 地域子育て支援センターを併設した基幹型保育園を中心としたブロック編成を整備し、5園とする。また、公立保育園における障害児の通所型保育や特定保育を検討し、障害児の入所型保育、延長保育、一時保育、地域の親子を中心としたひろば事業充実を図る。	継続	保育課	検討	引続き休日保育について検討、電力供給問題に伴う休日保育について保護者アンケートを実施した。
0702	3 重-12	地域子育て支援センターの設置・拡充 地域の子育て支援の拠点として、地域子育て支援センターを拡充する。この施設には、地域の子どもと子育て家庭に対応する支援コーディネーター（保育士等）を配置する。また、支援コーディネーターは地域ブロックの中心的役割として、関係施設・機関と連携を図る。	継続	保育課	拡充	・5か所の地域子育て支援センターにおいて 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育て相談・援助 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施等の活動をおこなった。 ・地域子育て支援センターを5月より1園開設した。
0702	4 重-12	保育・地域支援の質の確保と向上 保育園における支援コーディネーターの充実を図り、良質な保育サービスの提供や支援コーディネーターとしての質の向上をめざす。	継続	保育課	継続	認証保育所と基幹型保育園の連絡会を実施した。
0703	5 重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。同時に、運営方法についても子どもも参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲) 1-2-2、4-4	継続	児童青少年課	実施	平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想（公共施設適正配置計画も考慮）に向けて、児童館職員とヒアリングを実施するための準備を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 1 子育て期の支援

				22.4月組 繰り改正	23年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0103	6 重-9	子育て家庭への情報提供の充実(再掲) 市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。 3-2-2-(4)	継続	秘書広報課	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行う。
0702				保育課	継続	・市ホームページに認可保育所の欠員状況及び認可保育園、認可外保育施設についての情報を掲載。 ・認証保育所の欠員状況を掲示 ・認可保育園案内、保育園のしおり、認可外保育室の案内の各冊子を作成した。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報等のお知らせを掲載した。
0701				子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行
1999				関係各課		
0702	7	乳幼児とふれあう場づくりの推進(再掲) 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊びのボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異年齢の子どもたちの交流をすすめる。保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・中学生・高校生などが参加できるように促進する。小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や保育園の訪問やボランティアなどを推進する。 2-1(再掲)3-2-2-(2)	継続	保育課	実施	小学生は職場体験、中学生についてはボランティアを受け入れた。 ・中学校からの依頼 ・ボランティアセンターからの依頼 ・個人からの申込み。
1503				教育指導課	実施	・各中学校の実態に応じ、職場体験で、幼稚園や保育園におけるボランティア体験を実施した。
0701				子育て支援課	調査検討	調査検討
0702	8 重-13	一時保育の充実 リフレッシュ型の一時保育希望にも対応できるように、公立保育園での一時保育の実施を拡充する。 増大するニーズに対応できるよう、民間活力の導入や施設整備計画とも連動して事業を実施する。一時保育の利用手続きを簡略化し、より利用しやすいものにする。	継続	保育課	拡充	一時保育実施園を5月に1園、11月に1園の合計2園を増設し、計7園に拡充した。 11月分から公共施設予約管理システムを利用した予約方法に変更し、利用者の利便性を向上させた。
0701	9 重-13	病後児保育の充実 病後回復期の子どもを預かる病後児保育事業(市内2か所実施)について、施設を活用した情報提供等の検討を含め、一層の充実を図る。病後児保育事業実施施設にコーディネート機能を付与し、送迎サービス等、家庭の状況に応じて最適なサービスを提供するネットワーク事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	市内2箇所で開催している病後児保育施設について、市民へのPR等を含め一層の充実を図る。
0702				保育課		
0701	10 重-13	病児保育の実施 医療機関附置の病後児保育室で病児を受け入れることを実施していく。	新規	子育て支援課	実施	市内にある病後児保育室2施設のうち1施設にて病児の受け入れを実施した。
0702	11 重-13	休日保育の検討 保護者の就業形態の多様化から、仕事と子育ての両立支援として、日曜日や祝日の休日保育の実施検討を推進する。	継続	保育課	検討	新規開設する認証保育所での休日保育ニーズについて検討する。
0704	12	ショートステイ事業の充実 児童養護施設における短期宿泊型保育事業について、地域のニーズに対応できるように、施設や他組織と連携を図りながら充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・はなバスにショートステイ事業をPRする記事を掲載し、利用促進を図った。 ・年間延べ利用日数188日

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 1 子育て期の支援

				22.4月組 繰り改正	23年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	13	学童クラブ運営の充実 小学校4年生以上の保育は「遊びの学校」事業に移行し、小学校3年生までを現施設で保育することや、就労家庭・ひとり親家庭等の保護の必要な子どもの保育環境を整備すること、時間延長の検討、サービスの充実を図るための運営のあり方について見直していく。 環境が整備された学童クラブ施設の開放を基本として、午前中は乳幼児とその保護者のために開放し、子ども同士の遊び場や保護者たちの仲間づくりを支援する。 また、老朽施設の改善と事業内容を充実するため、施設整備をすすめる。	継続	児童青少年課	実施	平成24年4月1日開設で仮称)上向台第二学童クラブを設置することが決まり、芝久保学童クラブの定員超過状況を緩和に結びつけた。
0704	14	ファミリー・サポート・センター事業の充実(再掲) 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携し、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようになるための広報を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	会員交流会と同時開催された社会福祉協議会のふれあいまつりにブースを設置し、パンフレット・資料等を配布。会員交流会では、参加者の市民へ向けて、ファミリー・サポート・センター事業のインフォメーションをするなどして広報を行った。
2002			3-2-1	社会福祉協議会	実施	市からの委託を受け実施 ・ステップアップ講習会「いろいろなファミリー会員との関わり方」を開催 ・社会福祉協議会ふれあいまつりにて、ファミリー・サポート・センター10周年記念会員交流会を同時開催し、会員、一般市民を対象に人形劇団ボボロによる『あかずきん』を上演 ・市と協議し、緊急災害マニュアル作成。更新時に全会員に郵送 ・病児・病後児については、市と協議の結果、実施しないこととなる
0704	15	出産直後及び里帰り出産後の支援の充実 「こんにちは赤ちゃん訪問」や育児支援ヘルパー派遣制度等を活用して、出産直後及び里帰り出産後の家事や子どもの世話などを支援するシステムを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	「こんにちは赤ちゃん」事業を実施している部署と連携し、出産後で支援が必要な家庭の情報を共有した。
0605			健康課	実施	こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件	
0701	16	ホームヘルパー派遣事業の推進 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。 (再掲) 4-1-4	継続	子育て支援課	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 20世帯 777回
2002			社会福祉協議会	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供した。 相談件数23件 利用件数:10件(登録12件) 利用回数:62回	
0704	17 重-13	在宅児への一時保育サービス等の充実 子どもが保育園や幼稚園へ通っていない子育て家庭が利用できる一時保育の拡充、子育て親子の交流の場の提供、子育て相談の充実、保育サービス情報の提供など、在宅で子育てをしている家庭への子育てサービスの充実を図る。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・母子保健、地域子育て支援センター、児童館、保育園等と連携をとりながら情報の提供を図った。 ・誕生日会や父親支援事業を行い、広場に集うきっかけ作りを行った。
0702			保育課	継続	各基幹型保育園に配置されたコーディネーターを中心として地域連絡会を開催した。	
0703			児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的に実施した。子育て中の親同士の交流の場の提供や子育て相談を実施した。また、児童館と基幹型保育園との連携事業も定期的に実施し定着した。児童館のおたよりにておススメの絵本紹介を行った。	

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 1 子育て期の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 繰改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0702	18 重-13	保育園の入所枠の拡大 現在、市内保育園の待機児はほとんどが0～3歳児のため、既存の保育園での0～3歳児受入枠を拡充し、待機児の解消を図る。	継続	保育課	拡充	私立認可保育園(3歳～5歳)の入所枠を増設及び0歳、2歳入所枠弾力化により63名の入所枠を拡大した。
0702	19 重-13	認証保育所等の拡充と保護者助成の充実 待機児解消のため認証保育所等の受入枠を拡大するとともに、保護者の負担を軽減するため保護者助成の充実を図る。	継続	保育課	拡充	現在B型の1園をA型に変更することにより、定員の拡大を実施(6名増)。家庭的保育事業を行う保育ママ3名認定することにより15名の枠を拡大した。
0701	20 重-13	私立幼稚園の預かり保育推進等の検討 待機児の解消を図るため、私立幼稚園の預かり保育推進等について検討する。	新規	子育て支援課	実施	西東京市内の私立幼稚園における預かり保育の拡充を図るため、幼稚園に対して補助金を交付
0701	21	就園奨励事業の推進 私立幼稚園での幼児教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、就園奨励の充実・推進について、国、都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。
0701	22	私立幼稚園運営助成の充実 私立幼稚園の運営助成の拡充について検討するとともに、国・都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	国や都に説明会等において充実を働きかける。
0701	23	駅周辺への乳幼児施設設置の検討 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加などに配慮し、交通アクセスのよい場所への乳幼児の相談、一時保育、たまり場の設置を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
0703	24	出前児童館の充実(再掲) 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 1-2-2	継続	児童青少年課	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。
0402	25	育児休業相談・支援事業の検討	新規	産業振興課	未実施	なし
0404		育児休業の奨励や子育てに理解があり、子どもにやさしい職場環境整備を推進している企業を表彰し、その支援を検討する。		協働コミュニケーション課	実施	男女平等参画促進の観点で市内企業に対する意識調査の実施を行うため、予算計上し、要求し続ける。ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、国や都等関係機関からの啓発ポスターやチラシを掲示及び配布することにより、育児・介護休業法などの各種制度の周知を市内企業(一部)・市民へ啓発を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 1 子育て期の支援

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	26	父親の育児参加の推進(再掲) 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのため、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。 3-1、(再掲)3-2-2-(1)	継続	子ども家庭支援センター	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延276人が参加した。
0404				協働コミュニケーション課	実施	夏休み企画「パパの出番ですよ」といって、「紙のからくりを作ろう」を平成23年8月7日(日)「パパとダイナミックに遊ぼう」を平成23年8月21日(日)に実施し、育児介護休業法改正1年を経過したことに伴い、啓発冊子を作成し配付した。冊子の内容は育児介護休業法の解説と取得時の賃金や社会保障、平成22年度で行った講演会での既に育児休業を取得した市民の生の声を掲載して啓発に努めた。また同事業開催のチラシとポスターを市内企業に配付した。
1603				公民館	継続試行	・土日 10講座 ・祝日 2講座
0605				健康課	継続	・ファミリー学級 1コース2日間16回開催(2日目土曜日開催)先輩パパの話 延べ参加人数1,175人
0402	27	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進 家庭での子育ての重要性を認識し、家族が一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。 (再掲)3-1	継続	産業振興課	継続	所管部署からの依頼に応じ、商工会を通じ、商工会員にパンフレットを配布することは可能。
0404	28	再雇用制度に対する情報提供の充実 出産・育児による離職者が、職場への復帰や再就職がしやすくなるように、雇用情報の提供を充実する。	継続	協働コミュニケーション課	実施	就職支援講座「カラーコーディネート講座」を連続全2回講座を開催
0402				産業振興課	実施	第1回就職支援セミナー平成23年6月28日、29日、30日実施。セミナー参加者126人。保育サービス合計6人。 第2回就職支援セミナー平成23年10月25日、26日、27日実施。セミナー参加者138人。保育サービス合計5人。 女性のための再就職支援セミナー平成24年1月20日実施。セミナー参加者39人。保育サービス7人。 若者向け就職支援セミナー平成24年3月1日実施。セミナー参加者2人。
0701	29	母子福祉資金貸付事業の推進 ひとり親家庭の子育て負担を軽減するため、母子福祉資金貸付事業を継続する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	30	国、東京都等の補助活用の推進及び制度変更等への対応 子育て支援にかかる国や都の補助制度等の活用を促進する。また、国、東京都等の制度変更等に対しては、必要に応じた子育て支援策を検討、実施する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施。
1999				関係各課		
0701	31	子どもの医療費の負担軽減 子どもの保健の向上と健やかな育成を図るため、子どもに係る医療費の一部を助成することによって子育て支援に資する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施。23年10月より所得制限を撤廃し、さらなる制度拡充を図った。
0701	32	子ども手当の実施 国が創設する子ども手当を支給することにより、子育て期の親の経済的負担を軽減する。	新規	子育て支援課	実施	引き続き実施。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 織改正	23年度	
番号	担当課			実績	具体的な 取り組み内容	
0704	1 重- 11	子ども総合支援センターの充実(再掲) 子育てに関する相談・情報等を総合的に扱う子育て・子育て施策の拠点として整備した、こどもの発達センターと子ども家庭支援センター機能を併せ持つ施設である「子ども総合支援センター」の一層の充実を図っていく。支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、支援を必要とする児童・家庭に対する相談やトータル的な支援を実施する。支援にあたっては、子どもが地域の中で育つことを基本とし、各部署の連携を強化するためのコーディネート機能を持って、地域子育て支援センター等の関係部署との連携を強化する。また、虐待などの要保護児童の早期発見や適切な保護を行うために、関係機関との連携や情報共有を強化し、虐待防止に関する取り組みを充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・関係機関との連携会議や、要保護児童対策地域協議会をとおし、要支援家庭や、被虐待児童の保護、支援等を行った。 ・こどもの発達センターと子ども家庭支援センターの連携を図り、支援にあたった。
0702		保育課		実施	要保護児童を早期発見するため日常的な保育をつぶさに観察しながら疑わしい場合は、すみやかに関係機関と連携しながら虐待防止に関する取り組みを行った。	
0605		健康課		継続	虐待などの要保護児童の早期発見や適切な対応につなげるため、子ども家庭支援センターを中心とした関係機関と連携しながら、母子保健事業を通じて虐待防止に関する取り組みを行った。	
0704	2 重- 15	相談から、フォローアップまでを行う事業の展開 相談からフォローアップまでを総合的に支援するため、子ども家庭支援センターに支援コーディネーター(専門相談員)を配置し、医療・福祉・教育機関と連携して、支援を必要とする子どもへのトータル的な支援を実施する。	継続	子ども家庭支援センター	実施	発達支援コーディネーターを配置し、相談の充実が図れた。また分室ひよっこで課題学習グループ、親子参加グループを開始し、利用者を増やした。
0605		健康課		継続	相談事例に対し、必要に応じて関係各課との連携を図った。	
0704	3 重- 14	障害のある学齢児の療育・リハビリ機能の充実 子ども総合支援センターでの療育・リハビリを提供する。	継続	子ども家庭支援センター	実施	分室ひよっこでの個別機能訓練の機会を増やし充実させた。
0604	4 重- 14	障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進(再掲) 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。 早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。 就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。 乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。	継続	障害福祉課	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。
0704		子ども家庭支援センター		実施	職員1名が発達支援コーディネーターとして相談、関係機関との連携業務に専念し、相談・連携の充実が図れた。	
1505		教育支援課		継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。	
0702	5 重- 14	障害児保育の充実(入所型と通所型の障害児保育の充実と推進) 保育園での入所型障害児保育の充実及び通所型障害児保育の検討を推進する。また、学童クラブの利用の推進と、児童館での放課後活動事業を促進する。指導相談の充実にも努める。	継続	保育課	継続	・入所型障害児保育は全園で実施した。通所型障害児保育については未実施。
0703		児童青少年課		継続	学童クラブで小学6年生までの障害児の受け入れを行っている。また、児童館においてもノーモライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受け入れを行っている。	
0704		子ども家庭支援センター		検討	分室ひよっこでの新規事業を増やし、軌道に乗せるよう取り組んできた。	
0701	6 重- 14	障害児の幼稚園入園に対する支援の推進 障害のある子どもの幼稚園入園や、入園後の支援を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

所管課番号		施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	23年度	
担当課	実績			具体的な取り組み内容		
0703	7重-14	障害児放課後活動としての常設場確保 障害のある子どもたちが、放課後や休日に充実した時間が持てるよう、放課後活動の常設場所の確保を検討する。学齢児対象としては、児童館での放課後活動を推進する。	継続	児童青少年課	検討	再編成に伴う児童館の運営方法、学童クラブとの関係性などのなかでハンディキャップのある児童への基本的考え方をさらに検討した。
0701		子育て支援課		検討	調査検討	
0604		障害福祉課		継続	委託事業・さざんかクラブ 開所日数103日、利用延べ人数2484名 補助事業・ばんび 開所日数96日、利用延べ人数768名	
0701	8重-14	障害児のいる家庭へのホームヘルパー派遣事業の推進 障害のある子どもとその家族へ、必要に応じて介護及び家事ヘルパーを派遣し、子育て支援をする。	継続	子育て支援課	継続	関係各課と連携して取り組む
0604	9重-14	緊急入所事業の実施 障害のある就学児童とその家族を対象とした施設緊急一時保護事業を活用することにより、緊急時の支援をする。	継続	障害福祉課	継続	心身障害者(児)施設緊急一時保護事業実績 利用実人数27名、利用延べ日数242日
0604	10重-14	障害児を育てる親のレスパイトケア機能の実施 障害のある子どもを育てる親の負担を一時的に緩和すること(レスパイトケア)により、その後の子育ての活力を回復するため、短期入所事業や就学児童の日中一時支援事業を実施する。	継続	障害福祉課	継続	自立支援法に基づき実施
1501	11重-14	特別支援教育の充実 障害のある児童・生徒の特別な教育的ニーズに応え、学校が、家庭や地域社会、関係機関と連携し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす多様な教育を展開するよう努める。 中学校の通級制度を開設する。 小学校において巡回指導員、保護指導員配置事業を実施し、通常学級で学ぶ障害のある児童への対応を図る。	継続	教育企画課	継続	特別支援学級の現状と今後の見込みについて調査した。
1503		教育支援課		継続	特別支援教育研修会を4回開催し、特別支援教育に関わる教員の理解を深めた。特別支援教育コーディネーター連絡会で検討を行い、市立小中学校の全保護者向けに特別支援教育の啓発リーフレットを作成した。 校内体制強化に向けて、小学校に指導補助員を配置するとともに、巡回指導員による巡回指導を行った。また、専門的な指導・助言を行う学校支援アドバイザーや専門家チームを学校・保育園等へ派遣した。 幼児期から小学校への円滑な移行を図るため、子どもの発達センターや市内保育園と連携して就学支援シートの活用を実施した。	
1999	12重-14	特別支援学校の充実及び市外にある特別支援学校への通学者に対する取り組みの充実 市外にある特別支援学校通学者やその保護者に、地域情報提供の充実と地域との結びつきを強める取り組みの充実を図る。	継続	関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 2 障害のある子どもを育てる家庭の支援

			22.4月組 組織改正	23年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	13 重- 14	障害者、異年齢世代との交流事業の推進 障害のある子どもも、健常児も、年齢に関わりなく交流することで、情報交換とノーマライゼーションの啓発を図る。	継続	児童青少年課	継続	学童クラブにおいては健常児、障害児が隔てなく、年齢関係なく交流することで、ノーマライゼーションの啓発へとつながった。また、児童館においてもノーマライゼーションの理念に基づき一般健常児同様にハンディキャップをもつ児童の受入れを行った。
0702				保育課	継続	市内24園の認可保育園において、保育に欠ける障害のある子の受入を実施した。また、通所訓練施設と保育園の統合保育も行った。
0704				子ども家庭支援センター	実施	しもほうや保育園との交流を毎月1回行った。住吉会館の交流事業にも七夕の飾りつけに参加をしたが、1月はインフルエンザの流行により不参加となった。
0604				障害福祉課	継続	障害者週間の事業として、12月の2日3日にアスタ2階センターコートにおいて、市内障害者団体の活動内容や作品の展示を行った。 ノーマライゼーションの理念のもと、障害のある人、ない人が年齢にかかわらず、交流することにより、ノーマライゼーションの啓発を図った。 障害者週間の事業として、12月8日障害者総合支援センターにおいて、「乳幼児期から小学校低学年までの発達障害」をテーマとしたパネルディスカッションを開催、一般市民に対して発達障害のある子どもへの理解を図った。
0701	14 重- 14	障害児がいる世帯への手当(児童育成手当(障害手当)・特別児童扶養手当)の充実 児童育成手当、特別児童扶養手当の充実等、障害児がいる世帯への支援の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	継続	引き続き実施する。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 3 外国籍の子どもを育てる家庭の支援

				22.4月組 組織改正	23年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1503	1	外国人や帰国児童・生徒への日本語指導の充実 外国人や帰国児童・生徒に対し、パンフレット等の配布による日本語講座の紹介、学校への日本語指導員の派遣事業、年間を通じて通級できる日本語適応教室の実施形態の見直しと利用促進を図る。	継続	教育指導課	検討	・校長からの依頼に基づき、日本語指導員の派遣を実施した。 ・日本語適応教室での通室による指導については、通室者がいないので実施形態を検討した。
1503	2	個別に指導できる指導者の確保 学校での学習内容を個別に補助できる指導者の確保を推進する。	継続	教育指導課	継続	・西東京市多文化共生・国際交流センターと連携し、引き続き指導者の確保を図った。
0403	3 重-4	外国語パンフレット・冊子に関する情報提供の充実 既存の外国語のパンフレット・冊子等の情報提供を、外国人登録者数等の変化に応じて継続して整備する。	継続	文化振興課	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行した。2,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。
1999				関係各課		
1604	4	外国語本の整備の推進 外国語の絵本など、外国語の本の整備・提供を充実する。	継続	図書館	継続	外国語資料の整備を継続し提供していく。
0403	5	外国語の翻訳サービスシステムの充実 保育園や幼稚園、学校などから配布されるさまざまな資料や書類を、外国語に翻訳をするサービスを検討する。	継続	文化振興課	実施	必要時に業者に翻訳依頼を行うための予算計上を行った。総合防災訓練の参加者募集のためのチラシの英語翻訳。健診資料の英語翻訳。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 1 子どもと家庭の支援

4 - 1 - 4 ひとり親家庭の支援

			22.4月組 組織改正	23年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0701	1	母子自立支援プログラム策定事業の推進 母子家庭の生活の自立と安定のために母子自立支援プログラム策定事業を推進する。 就業支援・相談体制等、母子家庭が地域の中で安心して子育てできるよう支援していく。	継続	子育て支援課	実施	プログラム策定件数 29件 (うち面接2回以上) 15件
0701	2	ホームヘルパー派遣事業の推進(再掲) 育児や家事などの負担を軽減するため、ホームヘルパー派遣事業を推進する。 4-1-1	継続	子育て支援課	実施	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス 18世帯 937回
2002				社会福祉協議会	実施	・住民参加型有償家事援助サービスとして、産前産後や育児者の体調不良時に家事援助などを提供した。 相談件数23件 利用件数:10件(登録12件) 利用回数:62回
0701	3	母子家庭自立支援給付金支給事業の推進 母子家庭自立支援教育訓練給付金支給事業と母子家庭高等技能訓練促進費等支給事業を実施する。	新規	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	4	母子保護の実施 母子家庭の生活自立のための支援を実施する。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	5	ひとり親家庭等医療費助成事業の充実 ひとり親家庭等の親や子どもが通院又は入院による治療を受けた場合、費用の一部を助成する制度の充実を都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	6	母子家庭就学支度金貸付事業の充実 母子家庭福祉資金の就学支度資金貸付の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施
0701	7	児童扶養手当・児童育成手当(育成手当)の充実 児童扶養手当、児童育成手当の充実を国や都に働きかける。	継続	子育て支援課	実施	引き続き実施

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 2 保健・医療

4 - 2 - 1 母子保健体制の整備・充実

			22.4月組 組織改正	23年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0605	1 重- 15	新生児訪問等の推進 「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、新生児・保護者の心身の状況及び養育環境の全件把握に努めるとともに、子育てに関する情報提供をおこなう。連絡が取れないすべての家庭に継続的に働きかけ、健康や発達等の状況を把握する。	継続	健康課	実施	こんにちは赤ちゃん事業の実施に伴い、全件の赤ちゃん訪問を目指し、電話相談から訪問を勧めた。 こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件
0704	2 重- 15	訪問型相談の充実 「こんにちは赤ちゃん訪問」や健診未受診者及び必要な子どもについて実施している訪問型相談について、他機関や関係施設との連携を強化し、産後うつ・虐待などの未然防止・早期発見・解決と、子どもの成長発達の促進を図る。また、乳幼児の家庭への家事援助支援のしくみを構築する。	継続	子ども家庭支援センター	実施	子育ての支援が必要と思われる家庭に対し、育児支援訪問事業を延8日実施した。
0605				健康課	実施	・各種健診の未受診者を把握し、地区担当で訪問を行い、他部門との連携の推進を図った。 ・こんにちは赤ちゃん事業では、産後うつ・虐待などの未然防止・早期発見・解決の観点から、【エジンバラ(EPDS)】を用いた訪問指導を行うこととした。 ・こんにちは赤ちゃん事業の実施に伴い、全件の赤ちゃん訪問を目指し、電話相談から訪問を勧めた。 こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 新生児・産婦相談電話 延べ人数 477件
0701				子育て支援課	検討	調査・検討
0704	3 重- 15	母子保健と保育の連携強化 新生児訪問や乳幼児健診などの母子保健事業と市内関係機関や施設との連携を強化し、妊娠から出産、子育て不安や小児疾患、障害、児童虐待、養育力不足などの要保護児童や家庭に対し、切れ目のない支援を実施する。 また、母子保健事業を子育て支援事業において統一的に行えるよう、行政組織のあり方を見直す。	継続	子ども家庭支援センター	継続	要保護児童や家庭に対して切れ目のない支援を実施するため、要保護児童対策地域協議会実務者会議やケース検討会議を通じて、母子保健や市内関係機関との連携を強化した。
0605				健康課	継続	・基幹型会議における保育園等との連携会議の出席 ・地域連絡会議(各ブロック会議)における地区担当保健師の出席 ・地域子育て支援センター・コーディネーターの母子保健事業見学の受け入れ ・地域子育て支援センターと連携し離乳食講習会を実施(乳児健診でのチラシ配布及びアナウンス) ・地域子育て支援センター・コーディネーターによるファミリー学級での情報提供
0702				保育課	継続	関係機関との連携会議やブロック会議に保健師が参加し事業についての連携を深めた。また、母子保健と協力し離乳食講習会を実施した。
0701				子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4-2 保健・医療

4-2-1 母子保健体制の整備・充実

所管課番号		実施・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 組織改正	23年度	
担当課	実績			具体的な 取り組み内容		
0605	4	母子健康手帳交付及び乳幼児健診の活用による母子保健の推進 地域における妊娠期からの切れ目のない支援を展開するために、母子健康手帳を地域子育て支援センター(基幹型保育園)などで交付することを実施に向けて検討する。また、乳幼児健診を活用した健康教育・相談、情報提供を推進する。また、健診内容の統一を図るためのマニュアル整備、他部門(子育て支援、社会教育、学校、保育園等)との連携の推進、受診しやすいしくみと受診率低下の防止、育児グループの開催等、多角的に事業を実施する。	新規・継続	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センターでの母子健康手帳の交付 ほっとサロン12回開催 若年ママグループ12回開催 育児グループ(うさびょん)12回開催 (びよんびよん)20回開催 育児相談 12回開催 988人 ばくばく相談 24回開催 健診の未受診者に対して案内はがきの送付、電話での状況把握、受診勧奨、訪問を行った。 1歳6か月歯科健診の個別化に伴い、健診内容の統一をはかるためのマニュアル、アンケートの整備をした。また、1歳児、2歳児相談会で健康教育を実施し、3歳までの健康教育の充実を図った。 地域子育て支援センター・保育園などの情報提供と連携。 健診会場が一箇所になったため、受診しやすいよう対策を講じた。(乳児健診とBCGの同時開催、シャトルバスの運行、未受診率の調査と把握) 会場による受診率低下はみられなかった。
0702				保育課	検討	調査・研究
0704		子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級注3)、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。		子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> のどか広場、ピッコロ広場において、健康についてのミニ講座を2回実施した 西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。
0605	5	3-1、(再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)	継続	健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ファミリー学級 1コース2日間(マタニティクッキング含む) 18回開催 延べ参加者数1,175人 育児相談 12回開催 988人 子育て講座(歯科編・栄養編) 24回開催 113組参加 1歳児お誕生相談会 24回開催 参加者数1,293人 2歳児すくすく相談会 24回開催 参加者数1,068人 ほっとサロン 12回開催 113組参加 離乳食講習会 12回開催 228人参加 ばくばく相談 24回開催 延べ177人参加 若年ママクラス 12回開催 延べ参加組数104組
1603				公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 6講座 総計96回 延べ1,236人 保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」14回 親子105組 情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701				子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 2 保健・医療

4 - 2 - 1 母子保健体制の整備・充実

			22.4月組 組織改正	23年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704		<p>育児・子育て相談事業の充実(再掲)</p> <p>母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。</p> <p>地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。</p> <p>新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。</p>		子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して、子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談804件、活動延べ数8,214件。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年2回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。
0605	6	3-2-2-(3)、(再掲)3-2-2-(4)	継続	健康課	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談事業(12回開催) 来所者 988人 ・こんにちは赤ちゃん訪問 延べ訪問件数 1,751件 ・新生児・産婦相談電話 延べ人数 467件 ・ファミリー学級にて先輩パパの育児の体験談を聞き、赤ちゃんのいる生活についてのイメージ化をはかった。 1コース2日間 16コース開催 延べ参加人数 1,175人
0702				保育課	充実	建替えにより、すみよし保育園に5箇所目の子育て広場を開設し、市民の利便性の向上に努めた。
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援に係わる事業を定期的実施した。また、保育園など子育て関係機関と連携した事業を実施した。小～高校生年代の児童からの相談は、相談室等を活用し応じた。
0605	7	<p>予防接種についての普及啓発の充実</p> <p>予防接種の重要性を啓発することで接種率を高め、乳幼児の健康を促進する。予防接種未接種者への勧奨を徹底する。</p>	継続	健康課	継続	各種健診事業での予防接種未接種者への予防接種勧奨を図る

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 2 保健・医療

4 - 2 - 2 医療

			22.4月組 組織改正	23年度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0605	1	かかりつけ医の推進 1歳6か月児医科健診の個別化に伴い、母子保健とかかりつけ医との連携の重要性が高まっている。専門相談と個別支援が円滑におこなえるようなシステムを構築していく。	継続	健康課	実施	・1歳6か月児健診の医科の個別化をとおし、かかりつけ医との連携をはかった。 ・各健診、各相談・教育事業においてかかりつけ医の普及、啓発につとめた。
0605	2	かかりつけ歯科医の推進 1歳6か月児歯科健診の個別化に伴い、必要性が一段と高まった「かかりつけ歯科医」を推進するとともに、小学校・中学校の学校歯科保健を充実することで、子どものむし歯予防に努める。	継続	健康課	実施	・1歳6か月児健診の歯科の個別化をとおし、かかりつけ歯科医との連携をはかった。（歯科医師会と定期的な検討会の実施等） ・各健診、各相談・教育事業においてかかりつけ歯科医の普及、啓発につとめた。 ・保育園・小学校・中学校への歯科健康教育については、関係機関と調整を図りながら実施した。 保育園67回・小中学校203回
1502				学校運営課	継続	・前年度同様に継続して実施（小・中学校78回実施）
0605	3	小児救急医療体制の充実 北多摩北部医療圏との連携により、小児科医師のいる救急医療機関を確保し、小児救急医療体制の充実を図る。	継続	健康課	継続	・多摩北部医療センターで毎週月曜日～金曜日の週5日間実施 ・佐々総合病院で、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週3日間実施
0605	4	産科のある医療機関とのネットワークの充実 市内外の産科のある医療機関との連携を強化し、母子の健康管理・養育支援を充実する。	継続	健康課	継続	・地域連携情報紙を各医療機関に配布するとともに、必要なケースについては、電話や面談により連携した。 ・保健所主催による連絡会議に出席した。
0605	5	保健所との連携強化による母子保健サービスの推進 保健所と母子保健担当部署等の連携・協働により、効率的・効果的なサービスを提供する。	継続	健康課	継続	・定期的に連絡調整会議を行った
0605	6	アレルギー相談の実施 乳幼児健康診査・育児相談等で寄せられる、子どものアレルギーに不安や悩みを持つ親からの相談に対し、適切な情報提供や栄養相談などの支援を実施する。	継続	健康課	継続	・育児相談 12回開催 ・離乳食講習会 12回開催 ・ばくばく相談 24回開催 他各種健康診査、教育相談事業などで、適宜個別相談を実施
0704	7	心身の思春期相談事業実施の検討 第二次性徴による心身の変化に対し、気軽に相談できる場の整備を検討する。	新規	子ども家庭支援センター	実施	子ども家庭支援センターが子ども自身からの相談も受け付けている機関であることを周知するために、小学校高学年から中学生に対し、リーフレットや携帯用相談カードを配付した。
0605				健康課	継続	からだと心の健康相談の利用者数 ・面接相談 9件 ・電話相談 104件 依頼により、家族の大切さについての家庭科授業を実施 中学校1校91人

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 3 教育

				22.4月組 組織改正	23年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0404	1	子どものための消費者教育の推進 現在実施されている子どものための消費者教育の充実を図るとともに、中・高校生を対象にキャッチ商法などの事例を提示し、子どもへの啓発活動に努める。	継続	協働コミュニテイ課	中止	調理室の改修工事のため
1503		教育指導課		継続	都から配布されるリーフレット等を活用し、各学校の指導計画に基づき、社会科・家庭科等の授業等を通じ推進した。	
0501	2	環境教育の推進 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテンづくりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。	継続	環境保全課	継続	「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータなど訂正を行った。2,500部発行。
1503		(再掲)4-4 教育指導課		継続	6月に全小学校の第5学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。	
0403	3	国際理解教育の推進 我が国の伝統や文化を尊重し、外国の文化や芸術とのふれあいや外国人との交流を深めるなど、国際理解教育を推進する。	継続	文化振興課	実施	・6月26日留学生ホームビジットを実施。 ・7月26日外国にルーツを持つ子どもたちのための日本語交流バスハイク ・10月16日日本語スピーチコンテスト ・11月5日ひょうたん島ワークショップ ・3月10日子ども対象英語で楽しく
1503		教育指導課		継続	総合的な学習の時間において、我が国の伝統や文化を尊重する学習、異文化に触れる学習及び外国人との交流を図った活動を学校の実態に応じて引き続き実施した。	
1503	4	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進(再掲) 1-2-3	継続	教育指導課	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図る。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。
0403	5	人としての権利を尊重する教育の推進(再掲)	継続	文化振興課		
0404		外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。		協働コミュニテイ課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施(人権擁護委員との共催)
1503		1-1-1 教育指導課		実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。	
1505	6	スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化(再掲) 中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 (再掲)1-1-3	継続	教育支援課	継続	新たに小学校4校への都スクールカウンセラー配置を実現した。また配置されていない小学校13校には、継続して教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。都スクールカウンセラーとの連携を強化するために、教育相談センターとの定期的な連絡会に加えて、必要に応じて教育相談センターと情報交換や相談を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 3 教育

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組 組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1501	7	西東京市教育関係者連絡会議の検討 公・私立学校の関係者を中心とした情報交換の場の設定など、公立、私立一緒の場で、西東京市における教育について、定期的に話し合う場を検討する。	新規	教育企画課	継続	公立学校は、校長会、副校長会等で情報交換を行った。 私立学校に対しては、定期的に開催される私立学校出席の会議で意見交換を行った。
0704	8	幼・保・小・中学校の交流・連携の推進 公立・私立の垣根を超えて、保育園や幼稚園、小学校、中学校との交流の機会を推進し、発達障害・要保護児童の支援に対する連携の強化と情報の共有化を図る。 要保護児童対策地域協議会の場も有効に活用していく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・西東京市私立幼稚園連絡協議会、子育て支援部共催で「子育ては楽しい?!」と題した講演会を実施した。参加者は343人であった。 ・幼稚園・保育園・小・中学校の代表者が出席する要保護児童対策地域協議会実務者会議で要保護・要支援児童についての情報共有等を行った。 ・市内の私立幼稚園を訪問し、要保護・要支援児童について情報共有を行った。
1505				教育指導課		
0701				子育て支援課	調査・研究	各園において、地域の小学校との個別の連携をしているようである。
0702				保育課	調査研究	調査・研究
1601	9	地域の人材発掘・活用の推進（再掲） 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。 人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。 1-2-1、(再掲)3-2-1	継続	社会教育課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った（平成24年3月31日現在68人、141件登録） ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧（平成24年3月31日現在25人から35講座の登録）を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。
2002				社会福祉協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)、 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(10校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。
2003				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) 東伏見教室 その他教室 小学生習字 西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・国語 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 3 教育

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1503	10	<p>学校へのパソコン設置の充実</p> <p>学校でのパソコン活用環境をインターネットに接続できたり、自主的に使用できる時間の確保など内容を充実するとともに、ネットワーク社会に対応できるような指導の充実を図るため、教員のICT環境の充実及び活用支援を実施していく。</p>	継続	教育指導課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・策定された「西東京市教育情報化推進計画」に基づき、事業を実施。地上デジタル放送の有効活用やコンテンツの充実により、「情報活用能力の育成」と「分かる授業の実践」を図った。 ・引き続き、ICTサポート活用事業を実施し、「情報モラル教育」の更なる充実を図った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 3 教育

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1503	11	学校図書館の充実 各校の蔵書の更新・拡充を計画的にすすめ、地域の学習センター機能の充実を図るとともに、選書や運営等への子ども参加を推進する。	継続	教育指導課	継続	・相互貸借の研修会を実施し、システムに相互貸借管理を行った。 ・蔵書点検の実施の拡充を行い、図書の正確な管理を行った。
1502				学校運営課	実施	図書購入費は各学校に配当し、児童・生徒の要望を取り入れ図書館の充実を図った。
1604	12	図書館事業の拡充 子どもたちの心の成長にとって大切な本への関心を図るため、読み聞かせ事業、所蔵図書の充実に努める。	継続	図書館	継続	おはなし会ボランティア等の活用による図書館内でのおはなし会の充実 職場体験、職場訪問、図書館見学、1日図書館員等の実施。 図書館の推薦図書年齢別リスト作成、学校配布。 「夏休み・すいせん図書」記念号「で・あ・い」「道しるべ」の作成・発行を実施。
1503	13	図書館、学校図書館のネットワーク化の推進 図書館から学校図書館への本の貸し出し、図書館から学校への図書の情報提供など、地域の図書館と学校図書館の連携を推進する。	継続	教育指導課	継続	・学校図書館と公共図書館のネットワーク化を有効に活用し、司書教諭と図書館専門員を中心に連携を継続した。 ・公共図書館の貸出しや利用マナーの学習、公共図書館からの団体貸出しによる、図書の充実等を図った。
1604				図書館	継続	配本及び回収車の定期的な運行。(運行回数49回、貸出761箱、回収919箱)団体貸出の実施。(34,012冊)学校図書館専門員への支援、学校図書館専門員連絡会に参加。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組織 改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1 重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。 児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を促進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲)1-2-2、4-1-1	継続	児童青少年課	実施	平成24年度以降に作成予定の児童館再編成構想(公共施設適正配置計画も考慮)に向けて、児童館職員とヒアリングを実施するための準備を行った。
	0703	2 重-3		「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲) 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い、遊び、学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。 1-2-2、(再掲)3-2-2-(2)	児童青少年課	継続
1601	社会教育課		検討		・先進市における放課後子供教室事業の視察や社会教育委員の会議における提言内容を整理し、事業の実施に向けた具体的な検討を行う。	
0411	3 重-16	防犯対策の充実(再掲) 市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員注1)・児童委員注2)、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。 また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。 「できる人ができる時に、地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。 防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。 1-2-1	継続	危機管理室(警察)	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。
				児童青少年課	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。
				教育指導課	継続	・市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。
0703	4 重-16	子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進(再掲) 災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。 子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ビーボくんの家注1))を引き続き推進すると同時に、ビーボくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。 小学校区の地域単位の安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。 (再掲)1-2-1	継続	児童青少年課	継続	・育成会及び小学校PTAが主体となって行っている「子ども110番ビーボくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。 ・ビーボくんの家活動の広報活動を実施
0411				危機管理室	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布(H23.11から)

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
1501	5重-16	通学路、通園路の安全確保の充実 子どもの通学路の交通安全施設の整備を充実するとともに、子どもの通学時の安全を確保するため、通学路の点検、交通擁護員や交通安全協力員の充実を図る。 大型土地開発等により変化する子どもの通学路の安全性に配慮し、交通擁護員の配置時間等の改善などを継続的に実施する。	継続	教育企画課	実施継続	子どもの通学時の安全確保のため、交差点等に交通擁護員を配置するとともに、小学校新1年生に防犯ブザーを配布した。
0804				道路管理課	継続	要望等により、カーブミラーなどの交通安全施設の設置を行った。
0702	6	園庭開放の推進(再掲) 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。 3-2-2-(2)	継続	保育課	継続	地域の子育て家庭等と交流を図るため保育園園庭の開放を実施した。
0703	7	屋外の遊び場の充実(再掲) 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイリーダーの派遣を推進する。	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。
0802				みどり公園課	検討	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区(都市計画施設)の指定を計画。
0802	8	身近にボール遊びのできる場所の検討(再掲) 身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。 1-2-2	継続	みどり公園課	検討	検討
1602				スポーツ振興課	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)
0703				児童青少年課	継続	特になし
0703	9	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1(再掲)1-2-2、3-2-2-(1)	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内高校・大学、育成会などに働きかけを行い養成講座を実施した。講座終了後のアウトプットの場として、児童館事業を始め、歩け歩け会や中高生年代プロジェクトへの参画を実現させた。
1601				社会教育課	検討	・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。
0703	10	地域の子育て意識の醸成(再掲) 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるとい意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。 3-1	継続	児童青少年課	継続	青少年育成会等が実施する地域の人々(小・中学校、PTA、地域サークル、児童館等)が連携する事業を支援した。
0701				子育て支援課	検討	調査・研究
1503	11	交通安全教育の推進 各校で年間の指導計画を作成している交通安全教育について、計画的に取り組むとともに、家庭教育との連携を図る。	継続	教育指導課	継続	・各学校において安全教育の年間指導計画の見直しを行い、取組の充実を図った。 ・小学校では、PTAと連携し交通安全指導や見守り活動を継続して実施した。 ・中学校では、スタントマンによる自転車安全教室を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

4 市民参加型の子育ちと子育て家庭支援

4 - 4 子ども・子育て家庭のためのまちづくり

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	23年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0806	12	コミュニティバスの充実 交通不便地域・バス空白地域等の解消や交通弱者の移動手段の確保に努める。	継続	都市計画課	実施	乗降調査を実施。
0501	13	環境教育の推進(再掲) 学校における総合的な学習の時間を中心に環境教育を実践し、みどりのカーテングりなどを通じて市内の自然環境への関心や保全への取り組みを推進する。 4-3	継続	環境保全課	継続	・「西東京市の環境」を発行し、市内小学校4年生に配布。一部、文言やデータなど訂正を行った。 2,500部発行。
1503				教育指導課	継続	・6月に全小学校の第5学年において、「CO2削減アクション月間」を設定し、家庭でのCO2削減に取り組んだ。
0701	14	子育てハンドブックの充実、子育て施設、遊び場マップ等の検討(再掲) 西東京市子育てハンドブックを充実させる。また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。 3-2-2-(4)	新規	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行
0701	15	親子施設見学会の検討 市内にある公共施設や公園、運動施設等を広く知ってもらうため、親子がともに学べる見学会の開催を検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
1999				関係各課		
0701	16重-5	子どもに関わる制度や事業の評価推進 市で展開する子どもと子育て家庭に関する制度や事業について、計画の理念に照らし合わせた定期的な評価を、子ども福祉審議会を中心に実施し、質の向上を図る。	新規	子育て支援課	検討	調査検討